

広汎性発達障害のコミュニケーショントレーニング（CES）

『暗黙の了解を言語化する』

学習会報告（平成23年7月11日）

発達障害者の方の相談が年々増えてきているにも関わらず、支援方法のノウハウは少なく、多くの支援者がどうにかしたいと悪戦苦闘しています。当日は新しい支援技法を知りたいと60名ほどの参加者が集まり、定員をはるかに上回る大盛況な会となりました。

CES（Communication Enhancement Session）は、コミュニケーション障害と言われている発達障害者の気づきやコミュニケーションにおいて生じる認知のずれを変えていくプログラムです。セッションの中で自分を語らせることで、思考や適応のパターンに気づき 自分の得意不得意を説明できるようにするという画期的な心理教育プログラムです。

基本的な講義とGOOD-BADセッションの一部のデモンストレーションを通しCESへの理解を深めましたが、セッションを繰り返しながら当事者によって練り上げられてゆくものというお話が印象的でした。

すこしずつ支援のノウハウをみなさんと共有していきながら、一人でも多くの障害者の方を就労に結びつけていこう！と気持ちを新たにしたい一日でした。

講師は多摩精神保健福祉センターデイケアでCESのプログラムを担当している中村干城氏です。言葉や表現について造詣の深い方でアツという間の2時間でした

